

メディア表現の未来を考える

プレゼンター 緒方壽人 (takram design engineering)

日時 2013年10月5日(土) 14:00-16:00

会場 札幌市立大学サテライトキャンパス
[札幌駅南西・北4西5・アスティ45ビル12階 電話 011-218-7500]

参加費無料・どなたでもご参加いただけます。

参加申込みWebサイト: <http://j.mp/dev131005>

プログラム

進行: 杉本達應 (札幌市立大学)

14:00 開会のあいさつ・趣旨説明

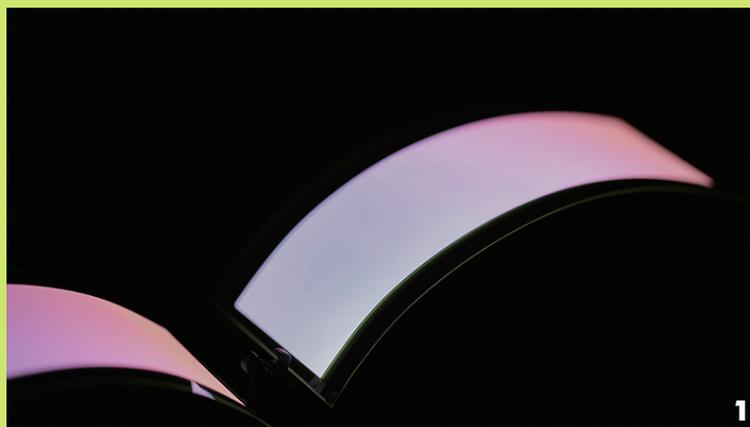
14:20 トーク+ディスカッション

「メディア表現の未来を考える」

15:50 まとめ・閉会のあいさつ

情報技術が発達し、便利なデバイスを身につけ、デジタルな表現に接することが日常的になりました。こうしたなか、アートやデザイン、製品開発などの領域で、新しい表現やものづくりの方法論に注目があつまっています。デザイナーやエンジニアといったクリエイティブに関わる人は未来に向かってどのような役割を果たすべきでしょうか。

今回、デザインエンジニアの緒方壽人さんをお招きして、これからの表現やものづくりの可能性について一緒に考えます。緒方さんが所属するtakram design engineering (タクラム) は、インタラクティブ・アートからソフトウェア、ハードウェアまで幅広い製品を手掛ける東京のクリエイティブチームです。従来独立していたデザインとエンジニアリングの領域を横断したプロジェクトは、どのようなプロセスで生み出されているのでしょうか。「Habataki」(コニカミノルタ有機EL照明)、「音めがね」(デザインあ展)、「ミミクリーズ」(NHK Eテレ)、「ARTSAT」(芸術衛星プロジェクト)など実際の事例をもとに、新しい時代の「ものづくり」や「表現」の考え方や方法論について、参加者のみなさんとともに考えていきたいとおもいます。



1. 「Habataki」(コニカミノルタ有機EL照明) 2. 「音めがね」(デザインあ展)
photo © takram design engineering.



緒方壽人 (おがた ひさと)

takram design engineeringディレクター/デザインエンジニア。東京大学工学部卒業。岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)卒業。リーディング・エッジ・デザイン、オン・ザ・フライ設立等を経て2012年よりtakram参加。ソフトウェアからハードウェア、アートからデザインまで幅広い領域で活動し、「NTT DoCoMo OnQ」でiFデザイン賞、グッドデザイン賞金賞など受賞多数。多摩美術大学非常勤講師。

主催・お問い合わせ先

札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース 杉本達應研究室
<http://lab.sugimototatsuo.com/> sugi@media.scu.ac.jp

*「DEVELOPMENTAL」は札幌市立大学杉本達應研究室の研究プロジェクトです。